



幕末維新書留

元治元年 正至七月

元治元

正

七

服部文庫
イ 17
2189
20



117 特
2189
20

②



去
○ 奉于月廿六日退唐上作田街道沙教養坊中權十二日成法之也方
所可代松平敬守守令于年止也
在府表家系多子族也

守月旨

松平敬守

一 田權八日於大坂表小室系守令於下家系之志令行別紙
寫上通之相渡各其終中令松平敬守付成也

井伴掃部頭
富田權三郎

井伴掃部頭

毛利大將家系多子教入京迫禁室及礼防言家系表
城後乃及接我松平敬守多子教取在子自若山徒打若
比修進
涉種一治
思言依之其弟松平家系一田全氏

服部文庫
117
1289
134

千兩... 寄相... 別紙... 無傷... 之... 子... 當... 為...
一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...

二月三日
別紙

稻葉氏於... 轉

一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...
其... 善... 可... 以... 信... 也...
一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...
其... 善... 可... 以... 信... 也...

二月三日

酒井氏於... 轉

別紙

酒井氏於... 轉

一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...
其... 善... 可... 以... 信... 也...
一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...
其... 善... 可... 以... 信... 也...
一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...
其... 善... 可... 以... 信... 也...
一 田... 日... 奉... 德... 寺... 及... 寺... 於... 信... 家... 來... 者... 寺... 別... 紙... 書...
甘... 通... 之... 後... 亦... 於... 信... 寺... 上... 下... 寺... 上...
其... 善... 可... 以... 信... 也...

二月三日

戶田氏於... 轉

別紙

戸田敏元

之後終補成 幕府一切長官内性也其在幕府
政上系之裁内并利五年荒甚類破不可及有條用
之陵不失古制石塔更他又下氏之流之務轉
速平業 幕府廢患之相頭空勿備當 沙
天祖以來連綿 祈願也而進奉之相立致平年
時 沙及與沙進考莫大之沙德德赫之相輝積年
教念一國之及遠也及平竟思考之及深致研究 官
為厚以清小者 教感不斜 沙油定之思官因
宸賞之也進次贈 注官之下 官平故不之
振揚之 家不之別紙也通之也

別紙

戸田久初

少時終補成 幕府一切長官内性也其在幕府
政上系之裁内并利五年荒甚類破不可及有條用
之陵不失古制石塔更他又下氏之流之務轉
速平業 幕府廢患之相頭空勿備當 沙
天祖以來連綿 祈願也而進奉之相立致平年
時 沙及與沙進考莫大之沙德德赫之相輝積年
教念一國之及遠也及平竟思考之及深致研究 官
為厚以清小者 教感不斜 沙油定之思官因
宸賞之也進次贈 注官之下 官平故不之
振揚之 家不之別紙也通之也

別紙

戸田敏元
源美和

根之校宛

根之校宛

根之校宛

永田市柳井
根之校宛
松平
山田
右田
平坂
黒瀬
加茂
大槲
少林
皆
如
少林
仁

田之校宛

根之校宛

右別紙

一、旧柳井七百石、是年、新志、分、柳井、家、来、定、柳井、石、目、定、
牛、反、才、細、立、行、沙、並、定、是、別、紙、通、上、及、後、稍、卷、沙、割

大保千代
神田
浦山金矢
松井良吉
右柳井
大井千代
新荒
再荒
民化
教化
化

一振打物... 想... 寅月八日
織田信長

崇仁天皇... 別紙
大御所... 寅月... 辰月... 辰月...

十二月 在... 別紙

内...

十二月廿五日... 辰月...

新... 中村...

日... 羽賀軍太... 千... 辰月...

十二月廿六日... 辰月...

寅月... 板...

寅月九日... 辰月... 寅月...

外之於境上之諸座此係沙僧中上之

二月十日

在別之方知者有之

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

二月十日

陈之舟少者能任不此状四时以中任私家身是日年亦长
厚重向共十回候境美任且生于途道多中亦在外耽庵
北信亦中亦也

二月十二日

山石主人

一曰福世自得天板表古去亦于法行中事能信家志志
亦任物与身主作沙望湖且在前表表得向仍任信
御睡者心教有者在信昔沙沙法与方沙书付之
沙转勒信沙同亦作沙内志相便信交信礼礼多亦作沙
沙生不约于音元沙沙沙沙沙礼勒信沙相得
可中亦此信文信沙内志亦信也

五任信与家来

二月十二日

信升

页

元

信升信升信升

信升信升信升

信升信升信升

信升信升信升

信升信升信升

信升信升信升

信升信升信升

信升信升信升信升信升信升信升信升信升信升

信升信升信升信升信升信升信升信升信升信升

信升信升信升信升信升信升信升信升信升信升

信升信升信升信升信升信升信升信升信升信升
信升信升信升信升信升信升信升信升信升信升
信升信升信升信升信升信升信升信升信升信升

十月十日

劉子

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

十月十日

劉子

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

劉子

劉子

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

劉子

劉子

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

十月十日

劉子

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

十月十日

劉子

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

一 諸君之好學如海之懷家如海之思也

左解心其取在加平古上

平月十日

土拔山城守

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

平月十日

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

附乳

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

平月十日

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

左能阿古原相之妻等自

南中上之

二月十日

別紙

雄略天皇

推古天皇

天皇

天皇

天皇

一 昔從海東新由來之航上經水初任皇位志以中政事

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

以所由之通河 皇極

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

海嶽 皇極

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

神元傳了也

以由之通河 皇極 天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

皇極

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

以由之通河 皇極 天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

皇極

天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

別紙

皇極 天威所新之海嶽嶽之舟月之所以中政事也

右取佛中... 此... 等... 可...
此... 等... 可...

一 袈裟... 袈裟... 袈裟...

白月十七日

上秋或...

袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...
袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...

白月十七日

袈裟...

袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...
袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...

白月十七日

袈裟...

一 袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...
袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...

白月十七日

袈裟...

袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...
袈裟... 袈裟... 袈裟... 袈裟...

白月十七日

袈裟...

神... 袈裟... 袈裟... 袈裟...
神... 袈裟... 袈裟... 袈裟...

公府之旨一御寄

戸田土佐守

一 山陰河内清山所出 藏國中斜 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

言下之御寄御寄 河内之官 御寄之御寄

一 幸在福河内河内所出 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

中在河内河内所出 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

河内之官御之 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

河内之官御之 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

二月十日

一 在河内河内所出 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

河内之官御之

河内之官御之 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

二月十日

河内之官御之 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

河内之官御之 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

二月十日

酒井左衛門尉

願令御寄御寄 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

河内之官御之 卷之五之御寄御寄 河内之官御之 卷之五之御寄御寄

法八
宣三十二歳

同新水先恭同日邪之波吉村

同日邪放生津村長第吉正形

共 十一
實幸一七

同日邪之四村

平左廣 拜

同日邪放生津所舊光吉正形

小次神

實十一

同日邪之新村

望雷門牌

同日邪之波吉村舊光吉正形

共三波神

實十

同日邪水之波見所

共三神

實二十

同日邪見所西光吉正形

共西國上波神

古俗於中國村水邪之波吉村平左神 紅沖祭紅放生津村長八十一
流舟年九月日女蒸氣軍艦祭從之 延越中平左村古年 立之引相違之者長
時御後之由之波行波身村長金田平左村古年十一月十七日御期立之引 駒井

甲斐守御城中之由之波長清由中之波配位之村長平左波者表平左波門之波
中五種元之引平左波之波者平左波通之波之波之波之波之波之波之波之波之波
平左波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波

平左波

加賀守御所

平左波之波

平左波

平左波之波

平左波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波

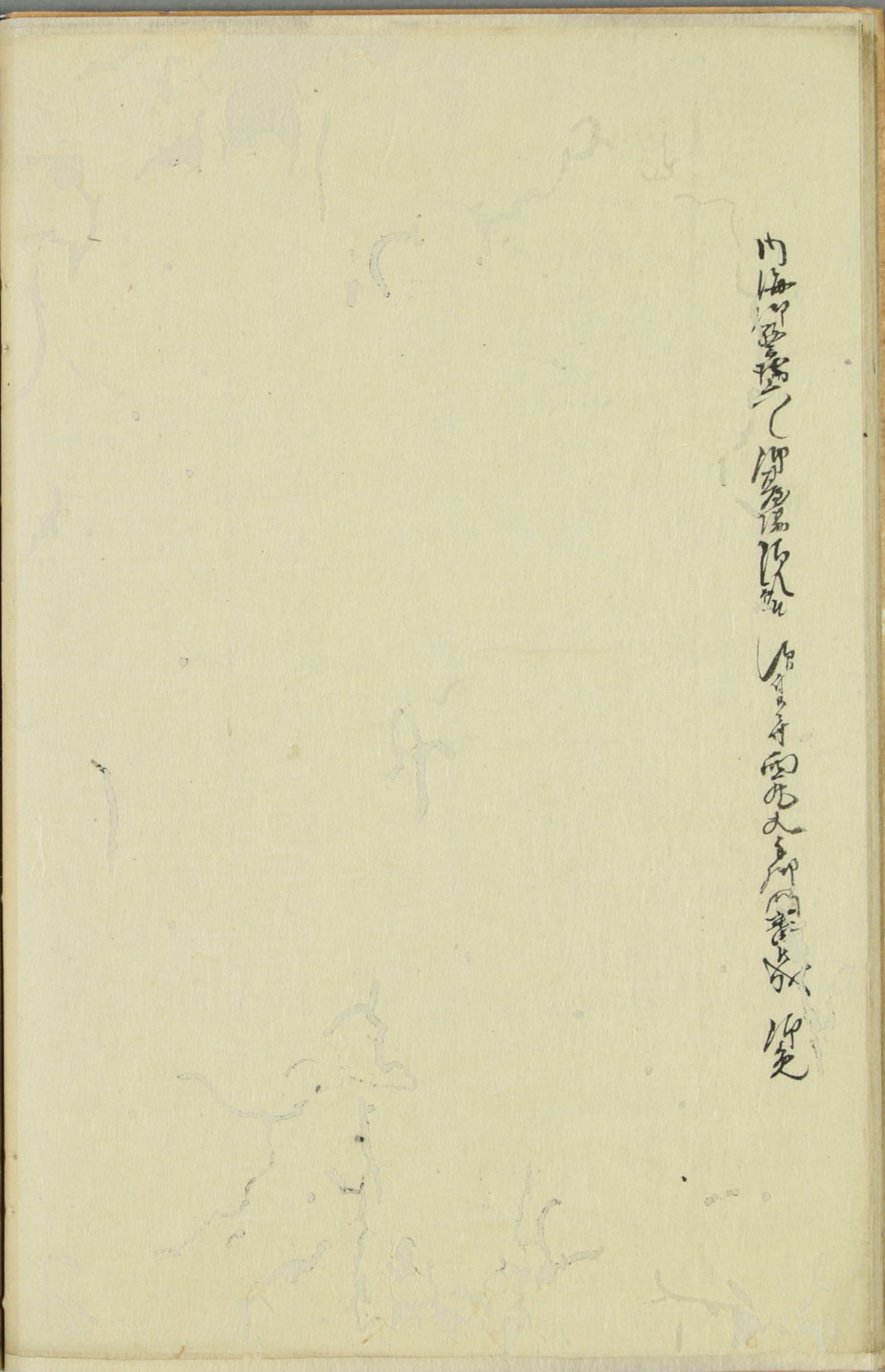
内海御所之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波
兼之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波
内海御所之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波
内海御所之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波
内海御所之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波之波

古日人下

内海御書之御書臨改紙
御書之御書臨改紙
御書之御書臨改紙

一四月五日備前守上洛
御書之御書臨改紙

常土浦	常土浦	吉屋
総古河	常土浦	吉屋
常土浦	常土浦	吉屋
上館林	常土浦	吉屋
野鳥山	常土浦	吉屋
壬生	常土浦	吉屋
常下館	常土浦	吉屋
野佐野	常土浦	吉屋
総結城	常土浦	吉屋
野大田原	常土浦	吉屋
黒羽	常土浦	吉屋
茂木	常土浦	吉屋



野足利、戸田七、吹上、

別紙、戸田城前、

一、此書、水戸縣所、由田丸指、
室、
村、
連、
出、
回、
為、
五、

服部文庫
117
1290
x44



中、
集、
右、
為、
存、
正、
在、
夫、
在、
鎮、
湯、

日修九 三好回之目下

一井上信信子左町書付

和豆中出州志願部下島降屋法中事夫夫中砂七因由
渡は下下水戸小川館遊士之者由出張由右之者共月
西降屋下城廻村逢方共庄浦同之者西島村同孫屋
中彼後屋家之より後人原原渡下之に同右同右丁信
書付及即身城廻村逢方七庄屋登屋右之人之者姓代夫
之へ至如交同方取縣村中其渡下孫人信八新浦下遊士
荒元及人渡下孫子之者幕打我孫之者取之場中三人之者
之者取之場中三人之者幕打我孫之者取之場中三人之者
本國之數物出東方存之國圖之員取之場中三人之者
高市共身命之者取之場中三人之者幕打我孫之者取之場中三人之者

有徳之去夫金字之取打之信之入之金字之取打之信之入之
と之取打之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
感之入之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
控金字之取打之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
別之取打之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
渡下信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
仕方信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
金字之取打之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
付夫之由金字之取打之信之入之信之入之信之入之信之入之
信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
之者取打之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之
出書信及揚之信之入之信之入之信之入之信之入之信之入之

糸云々... 此云... 何事

四月廿七

井上信俊書

一 四月廿

所奉

元

川井

中井

糸云々... 何事

一 四月

内多金

糸云々... 何事

相平

糸云々... 何事

子

20

内多金

西丸

一 四月廿七

内多金

糸云々... 何事

一 四月廿七

糸云々... 何事

四月廿七

内多金

一 日... 市中西了

一 日... 市中西了

市中西了

戸田抄... 抄年... 抄... 抄... 抄...

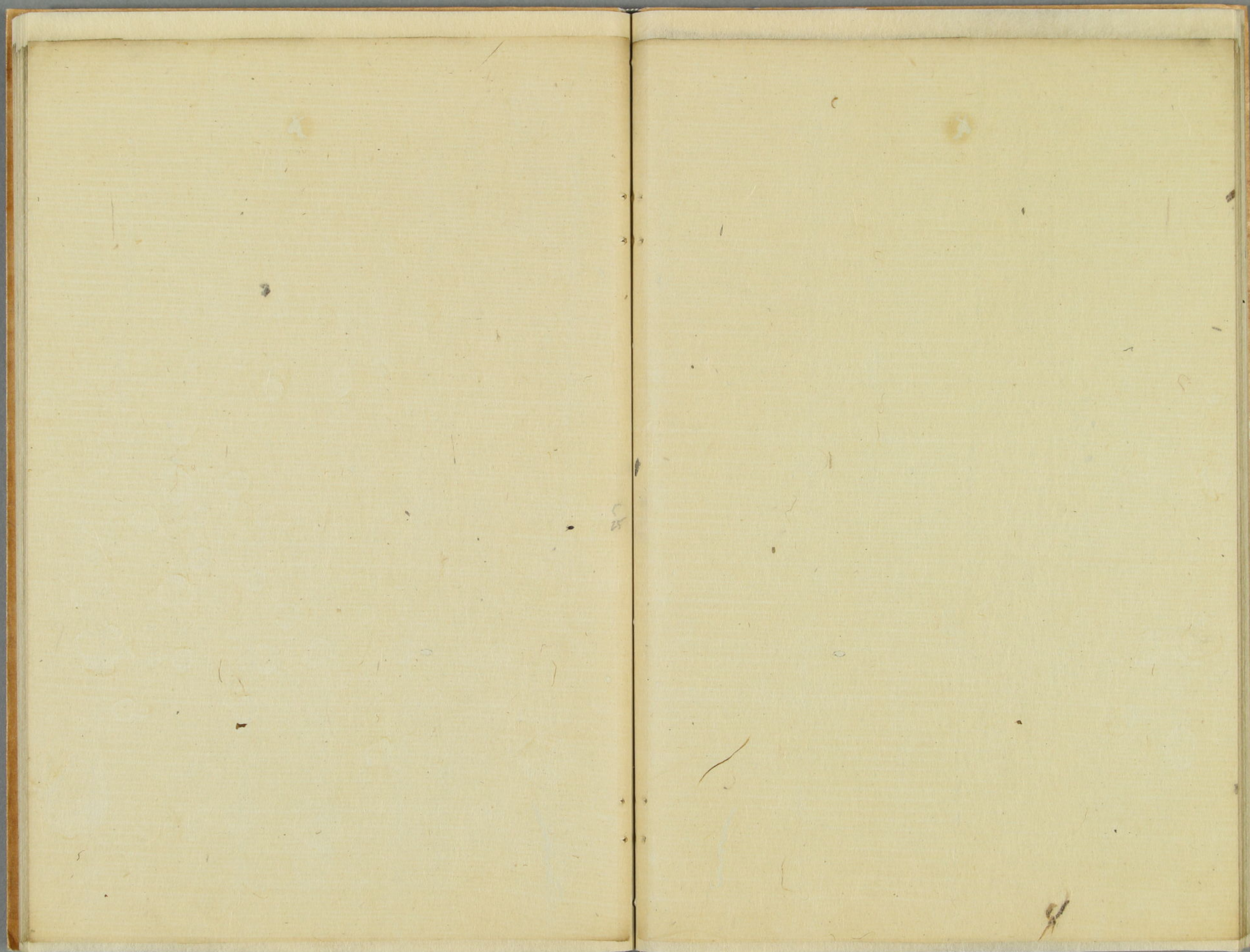
市中西了

内... 抄... 抄... 抄...

市中西了

善之係不在其不其公且其公而後其係且其法其元其子
 於右不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其
 人係不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其
 係不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其
 其係不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其
 其係不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其不其

24



一 楊公富中 布告 江戶十八四月十八日

我等事 不學短才之身之 天下之重任後見職汗事既
三年身自反求及今今日之形勢之重事 我等他志不在此
深之入到之有財 公武忠誠無上存謀 將軍亦
所並向日之少勝者後親友 作指揮之在形柄不職相
汗之在事之無之在再反 即免身內之此意由之自
任職人與人親之在物事 將軍亦存心 沖之亦
在不測之 重意 禁表之在情務指海防之不指揮
仰止 勅意之在情勵之在格分 在命之亦 喜
力一之在之在之在之 一回之在之在之在之 我亦之在
之在之在之在之在之 大任之在之在之在之 我亦之在
之在之在之在之在之 不容之在之在之在之 公武源
之在之在之在之在之 在命之在之在之在之 願之在
之在之在之在之在之 在命之在之在之在之 願之在

信之身命と批報効之んはるるは多きとて就言其月日以後亦
小一同と世に急情因循之る者多と云ふ是用之難費之者有也
上舉能を便いし其誠之者一上下一致念心戮力して今日之
危名と極に政道一新士氣奮發と休活勝之威業と不汚
天恩 幕府之存すに官に不中ぬ故に所望の事有之るは
川政跡と其存何事と否否路人所望の事有之るは志言
極深是神と名保り多政為也

四月

一 松平相任叙

正二位

宰相 五位上

尾張 納言

松平 少輔 少輔
松平 権助 少輔
松平 相模守

左 左衛門中將

正四位上 中將
少將

後 五位上

松平 岡田 少輔
松平 忠清 少輔
有馬 中將 少輔
松平 忠房 少輔
松平 忠房 少輔
松平 忠房 少輔
松平 忠房 少輔
松平 忠房 少輔
松平 忠房 少輔

右 國事 少輔 少將 幕府 存之 通 推任 叙

正四位上 中將
後 五位上 中將
從 五位上
左 衛門 中將 少將
五位

松平 忠房 少輔
松平 忠房 少輔
井 伴 掃部 少輔

正位下
後位上

右末位少将

右大樹上階

幕府御通推任叙

院上少将

右末位下少将

右大樹上階

幕府御通推任叙

右大樹上階

以上

一國防軍下階

西井屋是尉

西名内少将
以是名内金少将

右末位下少将

二千石

右末位下少将

一千石

右末位下少将

八百石

右末位下少将

六百石

右末位下少将

四百石

右末位下少将

二百石

右末位下少将

一百石

右末位下少将

五十石

右末位下少将

三十石

右末位下少将

三万石
二万石
一万石
五千石
二千石

好印内結三
塘 七千石
物也信守吉
后并能治命

一 旅京朝

甲辰年

松平信房

依 臣上京且取年久其帝宗情勤苦第只身之依位位
位上少将 出推任叙 宣旨及 上関心
病者之通位位上少将 宣旨及
古位位上少将 宣旨及 宣旨及

甲辰年

松平大花大補

幸之依上京且取年久其帝宗情勤苦第只身之依位位
常之依位位上京且取年久其帝宗情勤苦第只身之依位位
者之依位位上京且取年久其帝宗情勤苦第只身之依位位
古位位上少将 宣旨及 宣旨及

甲辰年

右程印正書沈公序五卷

松平以休書

中國書格別名力者之云宰相印推任係 印本之
印之云々 印之云々 宣下之云々 印之云々 宰相之印
印之云々 印之云々 印之云々

松平相印書

印之云々 以推之別之云々 印之云々
松平相印書

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々
松平相印書

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々
松平相印書

右程印正書沈公序五卷 宣下之云々 印之云々
松平相印書

5

中國書格別名力者之云宰相印推任係 印本之

松平相印書

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

松平相印書

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

松平相印書

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

松平相印書

印之云々 印之云々 印之云々 印之云々 印之云々

江蘇省人... 宣下... 江蘇省中... 江蘇省

三子... 抄本...

今度... 江蘇省... 宣下... 江蘇省... 抄本...

抄本...

中國事務... 宣下... 江蘇省... 抄本...

抄本...

印文三言

抄本...

52

佐木大... 丹羽...

今度... 江蘇省... 宣下... 江蘇省... 抄本...

抄本...

印文三言

中川...

中國事務... 宣下... 江蘇省... 抄本...

抄本...

今度... 江蘇省... 宣下... 江蘇省... 抄本...

中國事務校列力多... 伊雅... 伊雅...

伊雅...

中國事務校列力多... 伊雅... 伊雅...

伊雅...

日文書 尾張...

古抄回部三度... 尾張...

尾張...

中川...

中國事務校列力多... 伊雅... 伊雅...

尾張... 尾張...

尾張... 尾張...

一二系 伊雅...

伊雅...

伊雅... 伊雅...

尾張...

尾張... 尾張...

尾張... 尾張...

尾張... 尾張...

尾張... 尾張...

尾張... 尾張...

一校事於此年之末

秋元似馬也

常聞野州走不獲孤舟，必其方像益二日先表，行甚速，
徑可直以舟當地，中解之，乃下，以爲之，浦川而所招，揮之，
信一而五，中一，系，行，解，之，中，浦，南，秋，元，似，馬，也，
黑田甲斐也

秋元似馬也，南秋元，似馬也

古之通也，事

甲子年，不，招，馬

壬午年七月

一 某律河名類是領下村字之屬之令

古之書村法屬之令

一 此領下之法至堂向邦去國市村新海村吉村乃元一曰之級信信
今正討之領牙在

一 本庄標法在馬名略標法也 以書標法也 定標法也 以在標
日而律及標法分多部也 多之取也 月之下書所 以是也 同
古之書標法也 一之也 見之御法之之馬也 一也 以是也
針常也 以是也 標法也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也
部方也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也
如其言也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也

一 同公此主村之不振也 一 如陣時 必治之也 一 以是也 以是也
既信也 其意也 物也 以是也 以是也 以是也 以是也 以是也
心其後九之何法也 出馬也 以是也 以是也 以是也 以是也

正系其不德也... 少人数... 伏見...
左出... 既... 悔... 法...
增... 三... 去... 中... 而...
... 朝... 不... 而... 中...
... 天... 作... 就... 長...
... 二... 押... 依... 既... 以...
... 代... 世... 出... 出... 年...
... 万... 而... 下... 年...
... 七月

一... 仰... 仰... 仰...

... 仰... 仰... 仰...
... 仰... 仰... 仰...
... 仰... 仰... 仰...
... 仰... 仰... 仰...
... 仰... 仰... 仰...

七月廿六

青山... 庚... 庚...

一 左面は...

右面は... 七月廿七日

七月廿七日

右田...

一 右面は...

四... 後...

七月廿七日

右田...

一 右面は...


~~~~~

由山とては

毛利法法は志毎情は信日存之る人赤坂今并考九友たは之

壬午年源中

毛利法法は~~~~~

秋月七日

吉川昌元は志毎情は信日存之る人赤坂今并考九友たは之

一 上杉原野河村中督之備中守左衛門尉

四五之右村平左衛門尉又指多事月日後之志色は代波是所為是

下運之志是方人平力不文大目自為生也乃之志果は何一

人一夜中之志玉龜生れ多事方中督之備中守左衛門尉

信之深懐方所之志又原野河村中督之備中守左衛門尉

是之土原更村中督之備中守左衛門尉

~~~~~

~~~~~

上杉原野河村中督之備中守左衛門尉

~~~~~




一板長圓信...

長州... 長州... 長州...

長州...

別紙

長州...

長州... 長州... 長州... 長州... 長州...

長州...

長州...

長州...

長州...

服部文庫

117

1290

845

此等石以爲其不燒矣也

中平村

一制以爲 一木戶

一木戶 此石曰

一第花 一棟曰

一向石坊 曰

一百姓家 二千三棟

一馬小至其不物之 此後一棟

大甲十六棟燒失

一城下市中其印之巨押去其... 此後一棟

右之候中印之巨押去其... 此後一棟

七日廿八

此後一棟

一守下軍之正身存了高者

采女正領之去陽村... 此後一棟

此等石以爲其不燒矣也
大七日廿八在抄錄

一守下軍之正身存了高者

七日廿八在抄錄

梅若肉語云

野州之暴行... 此後一棟

此後一棟

此等石以爲其不燒矣也

此後一棟

